

# えどがわ 区議会 だより

令和6年第4回定例会号



発行  
江戸川区議会



<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

## 新年を迎え皆様のご健康とご多幸を 心からお祈りいたします



くぼた副議長 ふじさわ議長

区民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和7年の幕開けにあたり、江戸川区議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

長く続いたコロナ禍も収束し、地域イベントが再開し停滞していた地域コミュニティに活気が戻ってきました。区議会といたしましても、今年も地域イベント等を通じて皆様との絆を深め、

地域社会の更なる醸成を図ってまいります。

本区ではSDGsの理念「ともに生きるまち」を基盤に様々な施策を推進しております。特にひきこもり支援施策は、喫緊の課題として当事者の声を反映した取り組みを、様々に行っています。令和3年度に実施した18万世帯へのひきこもり実態調査と、令和6年度に実施したリスクが高い世帯に対する訪問調査から、最終的に区内のひきこもり当事者は1万人を超えると見込まれます。その多くの当事者の声をもとに、安心して過ごせる居場所・就労体験の場として令和4年度に「江戸川区駄菓子屋居場所 よりみち屋」を開設し、令和5年度は再訪された方も含め延べ1,907人の当事者にご利用いただいております。引き続き人にやさしいまちづくりの推進に向け、区民の皆様の声を大切にしながら努力を重ねてまいります。

また、昨年は元旦に能登半島で地震、9月には集中豪雨により大きな被害が発生しました。このように災害が頻発する昨今、災害に強いまちづくりも重要な課題です。今後も区と連携して地域の防災力を高める取り組みを一層強化し、安心して暮らせるまちを築いてまいります。

今後とも、区民の皆様の変わらぬご理解とご支援を区議会としてお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

令和7年新春

江戸川区議会 議長 ふじさわ 進一  
副議長 くぼた 龍一



 島村和成 自由民主党	 田中寿一 自由民主党	 金井高志 自由民主党	 小林ともお 自由民主党	 勝山まゆみ 自由民主党	 田島寛之 自由民主党	 しかくら勇 自由民主党			
 岩田まさかず 自由民主党	 野崎まこと 自由民主党	 福本みつひろ 自由民主党	 高木ひでたか 自由民主党	 ふじさわ進一 自由民主党	 須賀精二 自由民主党	 川瀬やすのり 公明党			
 竹内すすむ 公明党	 関根まみ子 公明党	 堀江そういち 公明党	 中道たかし 公明党	 伊藤てる子 公明党	 所たかひろ 公明党	 佐々木ゆういち 公明党	 佐野ともこ 公明党	 川合さなこ 公明党	 太田きみひろ 公明党
 くぼた龍一 公明党	 笹本ひさし 超党えどがわ	 本西みつえ 超党えどがわ	 中野ヘンリ 超党えどがわ	 きもと麻由 超党えどがわ	 伊藤ひとみ 超党えどがわ	 田村ひろし 超党えどがわ	 小林あすか 無所属の会	 間宮由美 無所属の会	 神尾てるあき 無所属の会
 金井しげる 無所属の会	 ます秀行 無所属の会	 小俣のり子 日本共産党	 牧野けんじ 日本共産党	 大橋美枝子 日本共産党	 太田あやか 日本共産党	 丸山れいこ 日本維新の会	 林あきこ 日本維新の会	 滝沢やすこ 無所属	 五十嵐まさお 無所属

# 文化スポーツプラザ開設準備費等を含む補正予算を可決



～議会の審査の流れ～



令和6年第4回定例会は11月22日から12月10日までの19日間の会期で開かれました。

- 12人の議員が区政の課題について、区長に質問を行いました。
- 区長から議案23件、報告2件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。
- 議員が提出した議案2件は原案のとおり可決され、意見書は各関係機関に送付しました。
- この定例会の会議録は、3月下旬にできあがりです。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。
- 上記のQRコードから本会議の録画配信映像を視聴できますので、ぜひご覧ください。

## 区政への質問

11月27日に代表質問、28日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードを読み込むと、各議員の質問映像がご覧いただけます。

### 代表質問

**共生社会の実現・スポーツを拠点とした街**

自由民主党  
須賀 精二

問 共生社会の実現に向けて。

①公益社団法人江戸川区シルバー人材センターと同様な、障害者や就労困難者の生きがいと健康づくりを進める公益社団法人による人材センターを設けて、ソーシャルファームに取り組んではと考えるが、区長の所見を。

②喫煙者と非喫煙者の共生について。

1)再開発により小岩駅喫煙所の継続は困難になるが、代替等の対応及び喫煙所がない駅の設定予定は。また、大型公園への喫煙所設置と民間の力を活用した分煙施設の整備に関する検討状況や助成制度について、区の見解は。

2)外国人が日本の条例やマナーを理解できず路上喫煙やポイ捨て等することがないように、多文化共生センターとともに喫煙者のマナー向上に向けた取り組みを実施しては。

3)小規模零細事業者を対象とした新紙幣対応のたばこ自動販売機の更新費用に対して、更新費用の一部を助成する補助金制度の新設を。

答 ①働きたくても就労に繋がることができない状況を解消するためには、みんなの就労センターの体制強化と就労に繋がる訓練場所の確保が必須と考える。勉強会やコンサルの派遣、マッチング等の機会をつくり、提案内容も含めて検討したい。

②1)小岩駅喫煙所の継続について地域代表者の方々にアンケートを行っており、未設置駅については社会情勢等の観点から検討する。また、大型公園への喫煙所設置は実態調査等の結果を踏まえていき、民間施設の喫煙所整備に関しては今後の課題として様々な観点から検討したい。

2)多文化共生センターの活動の機会も活かし、更に多くの人にメッセージが伝わるような配布

物や看板等のデザインの見直し、日本語学校と連携した啓発等、新たな工夫に取り組んでいく。3)年齢識別装置の取り付けが必須となる動きがあり、また新たな対応が必要になることが想定される。小規模零細事業者への支援について、キャッシュレス決済の導入と併せた補助等、その支援の在り方を考えていく。

問 ひきこもり事業について。

①令和3年度に18万世帯を対象に実施したひきこもりの実態調査を分析して、これまでの取り組みの評価と、今後どのような施策を展開していくのか。

②区が制定した「ひきこもりの状態にある人やその家族等へのサポート推進条例」の理念を実現し、事業を継続するにあたっての課題について。

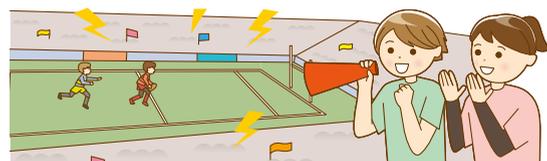
答 ①全世帯を対象に調査を実施したことで、メタバース居場所の開設や、駄菓子屋居場所よりみち屋の開設、当事者・家族向け交流会等、様々な施策に繋がった。今後も当事者やその家族に切れ目のない支援を実施していく。

②ひきこもり支援で重要なのは、緩やかに繋がりが続ける相談支援と地域の理解だと考える。真に支援が必要な方に情報が届くよう当事者支援の更なる充実と、ひきこもりへの理解が深まるきめ細かな周知啓発を実施していく。

問 スポーツを通じた地域活性化の推進について。

①スポーツを拠点とした賑わいのあるまちづくりを進めるため、スパアズえどりくフィールドの早期改修を望むが、区長の考えを。

②スポーツ施設を、観戦を楽しむだけの場所から、葛西臨海水族園や魔法の文学館等の近隣施設と連携して、試合以外にも常に賑わいを創出する必要があると考えるが。



スポーツを通じた地域活性化の推進について

答 ①区民の要望とおりの改修が可能なのか、施設の需要に対する課題、財源等、様々な視点

から検討を重ねているため、具体的な計画が現時点では示せない。早期改修を望む声をよく伺い、区としてしっかり検討を重ね、複合化や民間活力の導入等も視野に入れながら進めていく。②魅力的な施設が数多くあり、それぞれの施設の特徴を活かしながら連携することで、葛西南部地域が相乗効果で大きな賑わいを創出できるエリアとなるよう、これからのスポーツ施設整備を含めたまちづくりを進めていく。

**旧日光林間学校の再建を！  
よりみち屋事業の区長の思い**

公明党  
川瀬 やすのり

問 タワーホール船堀の整備について環境性の向上や機能見直しを検討し、地域の魅力向上を図る必要があると考えるが、区長の所見は。

答 賑わいを創出する拠点として、施設全体の機能等の見直しと利便性の向上を図り、区のランドマークとして魅力ある施設にしていきたい。

問 江戸川区文化スポーツプラザについて。

①事業内容について具体的な整備を期待する。施設に望む姿について、区長の所見を。

②今後の区内全体における将来展望は。

答 ①様々な活動を通じ、区民の生きがいと健康で文化的な生活を手助けできる施設を目指す。

②将来的に徒歩圏内の学校を拠点に文化・スポーツ活動を気軽に行える環境を整備したい。

問 旧日光林間学校の施設の今後の方向性について。

①自然体験や集団宿泊活動の重要性を踏まえ、民間活用による多世代利用も視野に、新たな施設の設立を検討しては。

②保護者負担軽減のため宿泊費補助を継続すべきと考えるが、区長の所見は。

答 ①保護者負担の軽減や子ども達の体験確保のため、日光林間学校の再建を検討している。②全ての児童が安心して移動教室に参加できるよう宿泊費補助の継続を検討していきたい。

問 私立学校や各種学校在籍者も給食費無償化や就学援助の対象にしては。

答 区内に住民票を置く全ての子ども達への対象拡大を検討しており、保護者負担の軽減と子ども達が安心して学べる環境を整備していく。

問 都が実施を検討している認可保育所の第一子保育料無償化に関して、区長の所見は。



今後の保育の無償化について

答 保育料の負担軽減は少子化対策の重要な視点であり、都の制度設計の動向を注視したい。

問 今後のひきこもり支援について。

①今後もひきこもりの実態調査や支援の継続をすべき。現在のひきこもりの実態と現状は。

②駄菓子屋居場所よりみち屋事業の評価と、今後も事業は継続していくのか、区長の思いを。

答 ①実態調査の未回答世帯に訪問を継続している。把握数は1万人を超える見込みである。②ひきこもり支援や多世代交流の場として成果を上げており、今後も常設の居場所として区が主導で継続すべき事業と捉えている。

問 東部地区の諸課題について。

①スポーツ施設整備を通じたパラスポーツの普及や障がい者に配慮した環境整備について。

②地域の皆さんからの期待が高まる江戸川4丁目の防災公園の整備について、区長の所見を。

答 ①地域ごとの施設整備も検討し、パラスポーツができる環境整備を積極的に推進する。②スーパー堤防事業とともに整備を進めており、防災拠点としての役割と眺望を活かした魅力的な公園を目指していきたい。

**区長! 「103万の壁」引上に賛成 or 反対?**  
超党えどがわ  
中野 ヘンリ

問 基礎控除「103万円の壁」について。

①インフレによって生きるコストが上がっている今、生存権を保障する制度である基礎控除の引き上げが必要と考える。区長は、「103万円の壁」といわれる基礎控除の178万円までの引き上げに賛成なのか、反対なのか。

②理不尽な税制の解消や子育て世帯の負担を更に軽減するために、東京都に先んじて第一子からの保育料無償化を令和7年度予算の中に盛り込んでほしいが、区長の考えは。

答 ①代替財源が確保されるのであれば賛成するが、されなければ反対である。基礎控除額が178万円になると本区で約160億円の歳入が減ることから、その分の行政サービスを下げなければならないから、行政サービスと税による負担を同時に議論することが必要であると考えます。

②サービスと負担の関係から、区独自の先行実施は現在考えていないが、都の補助事業や開始時期等の動向を引き続き注視していく。

問 小中学生の政治参加や当事者意識醸成のため、子ども議会の運営に独自の予算措置を。本区の投票率が低い原因と、今後実施される選挙への投票率向上に向けた取り組みは。また、投票所の早期締め切りはあったのか。開票速報の遅延について原因と再発防止策は。



投票率向上について

答 独自の予算を付けなくても子ども議会等

行っていく。投票率が低い原因の限定は難しいが、今後も防災行政無線の活用等研究したい。投票所の早期締め切りは行っておらず、開票速報の遅延についてはシステムの不具合が原因で、システム改修や体制の強化等対策を行っていく。

問 学校改築について物価高騰等で上がる金額の想定と区民への理解は。また、現在の少数入札に競争原理が働いていると言えるのか。今後も入札業者の言い値で補正を組むのか。学校施設の請負工事契約における不適切事務の事案の受け止めと、同様の事案の有無、公表の経緯や今後検証委員会は開かれるのか。

答 今後の工事費想定は難しいが、納得を得られるようにしたい。工事案件は公告し予定価格を事前公表、入札も電子上で行われ、競争は損なわれないと考える。今後は専門工事業者等の見積書も参考に予定価格の設定を検討する。不適切事案では全容解明に時間が必要と判断し公表した。全庁的な調査も行い、教育委員会と関係部署による検証チームで作業を進めている。

**風景印やアクアポニックスで地域の活性化を**  
無所属の会  
神尾 てるあき

問 森林環境譲与税の活用について。

①本区において、森林環境譲与税はどのように活用されているのか。

②森林環境譲与税の活用について、他自治体と連携した取り組みを進めては。

答 ①学校改築における内装の木質化、及び木材を使用した備品の購入を進めている。子ども達や教員からは好評である。

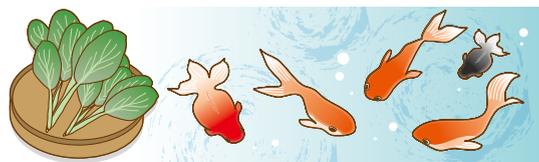
②学校改築に利用する木材について、友好都市・交流都市の木材を使用しており、既に十分な連携を図っている。

問 江戸川区の特産について。

①小松菜発祥の地として、本区が実施している取り組みと今後の展望について。

②日本三大金魚産地として、本区が実施している取り組みと今後の展望について。

③水耕栽培と養殖を掛け合わせたアクアポニックスのシステムを活用して、本区特産の小松菜と金魚を連携させた取り組みを進めては。



江戸川区の特産について

答 ①冊子「小松菜力」の発行、「小松菜グルメスタンプラリー」や「小松菜まつり」の開催、区内全小中学校による「小松菜一斉給食」の実施等、行政と生産者が一体となり取り組んでいる。今後も農家等関係者の方々を手を携えていく。

②毎年恒例の「江戸川区特産金魚まつり」に加え、小学3年生を対象にした金魚冊子の作成等、子ども達が金魚に親しみ身近に感じてもらえるよう取り組んでいる。金魚の養殖技術と文化を継承し未来に繋ぐ取り組みを今後も展開したい。

③区内のそれぞれの生産者が興味を示すかどうかは未知数であるため、生産者から話を聞く等、その実現については今後研究する。

問 郵便局で 사용되는消印の一種である風景印を推進し、行政と郵便局が協力することで

シティプロモーションとして活用を。

答 風景印が増えることは素晴らしいと思うが、風景印は郵便局の取り組みであり、区単独で進めていけるものではない。今後、郵便局側と話をしながら研究していければと考える。

**3択区民アンケートは問題 新庁舎建設費、公園の今後**  
日本共産党  
牧野 けんじ

問 2100年に向けた「区民アンケート」について。

①「区民アンケート」の実施について。

- 1)生年月日の記入までを要件とした根拠は。
- 2)広報誌で税込減少の金額を変更した経緯は。
- 3)従来と異なる実施方法をとった経緯は。
- 4)自由な意見表明が保障できない仕様では。

②区の方針の在り方について。

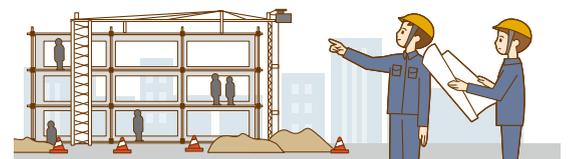
- 1)区民サービス削減の内容は区民への説明と意見交換の機会を設け、慎重に進めるべき。
- 2)2100年想定ではなく、区の現状や正確な予測が可能な期間を範囲として方針を検討すべき。

答 ①1)公平性と信頼性の確保のためである。2)推計に変更はなく、分かりやすい表現にした。3)趣旨・目的に沿って最適な方法を検討した。4)数年にわたり区民の声を聞いて進めている。

②1)今後も意見交換と丁寧な説明を行う。2)現取り組みは区の責任を果たすものとする。

問 新庁舎建設について。

- ①特定建築者制度の活用によるメリット等は。
- ②工事費の抑制について検討内容と見通しは。
- ③工事費増大の対応策と情報公開の考えは。



新庁舎建設について

答 ①コスト管理等総合的なメリットがある。②引き続き工事費の適正化に努めていく。③社会情勢等に注視し基金の積み立てを行う。年に1回程度、工事費等の検討状況を公表する。

問 アクションプランの具体化における区立公園のトイレと樹木伐採について。

①区立公園等の方向性は区民・利用者の参加で検討を。公園トイレの集約は慎重に対応を。

②樹木管理、伐採について区の基本的な考えは。

答 ①計画的で効率的な整備・維持管理を行う。手洗所設置は地域の理解を得たうえで検討する。②樹木を増やすという基本的な考え方を維持し、より持続可能な管理手法を検討していく。

問 今後の非課税世帯等への給付金支給について。

- ①今後の実施では給付率の考え方の整理を。
- ②対象世帯で未支給になっているケースへの、これまで及び今後のアプローチについて。

答 ①誤解が生じないように対応していく。②様々な周知や申請期限の延長を行ってきた。今後も申請状況を見て臨機応変に対応する。



## 一般質問

**区の魅力発信と高齢者の健康寿命延伸を**



自由民主党  
金井 高志



**問** シティプロモーションについて。

①区へのインバウンド、すなわち海外からの観光客に関する区の基本的な考えを。

②区へのインバウンドに対する「インバウンド向けリーフレット」の制作を検討しては。

③区道への愛称名設定は区への郷土愛を高める意義がある。手続き・ルールを区民に周知して促進すべきと考えるが、区長の所見を。

**答** ①外国人観光客の増は地域経済活性化や区の魅力発信に有用である。オーバーツーリズムの懸念のため、訪問者・商業を営む方・住民にとって良いバランスを見極めて対応を検討する。②リーフレットの制作は区の魅力の発信に有効な手段だと考える。今後も区の魅力や見どころを効果的かつ効率的に届ける方法を検討する。③町会・自治会等の地域の総意で申請できることを広く周知して愛称名設定を促進し、地域へ親しみを持ってもらえるよう取り組みたい。

**問** 災害対策について。

①町会・自治会と民間マンションの災害に備えた合同防災訓練の実施は、地域の防災力向上を目指すものである。実施に向けて区長の考えは。

②水害時のための町会・自治会と民間マンションの一時避難協定の締結は、協力関係構築や町会等への加入効果も期待できる。施策の検討を。

③多言語化された防災関係情報への外国人住民によるアクセス容易化について区長の所見を。

④外国人住民にも参加をしてもらえる防災訓練の実施が必要と考えるが、区長の所見を。

**答** ①合同防災訓練の実施は地域の防災力向上と地域コミュニティの醸成に有効であるため、積極的に周知や必要な支援をしていきたい。

②町会・自治会と民間マンションの一時避難協定締結は命を守る避難行動の選択肢であり、住民同士が助け合える仕組みは心強いと考える。区としては一時避難協定締結をサポートしたい。

③防災情報にアクセスできるリーフレットも有効であり、デジタルの活用等も含め外国人がアクセスしやすい様々な仕組みづくりを検討したい。

④通訳配置を行う等、外国人が防災訓練に参加できる環境づくりを進め、地域の防災訓練へ自然に参加してもらえるよう取り組みたい。

**問** 高齢者向け施策について。

①高齢者の健康寿命延伸には、筋力トレーニングが大切だと考える。区はこれまでどのような施策をとってきたのか。今後の周知と啓発は。

②高齢者の健康寿命延伸には、タンパク質摂取量を含めた栄養バランスの知識の普及が大切であると考えている。これまでの施策と、今後の周知・啓発についての区長の考えを。

③高齢者がスマートフォンのタクシー配車アプリでタクシーを呼ぶことができない状況に対して、区はどのような支援をしているのか。高齢者のタクシー難民問題への今後の対応について。

**答** ①高齢者向けの動画掲載や出張講座等を通じ、啓発を行ってきた。引き続き筋トレの普及と運動に親しめる環境を整え、健康増進や介護予防、生きがいづくりを応援していく。

②リーフレットの作成や「栄養かぞえ歌」を用いた普及啓発活動を行ってきた。今後も、健康で生き活きと暮らしていくための栄養バランスの知識の普及啓発を継続的に進めていきたい。

③スマホ購入費補助制度や、なごみの家での相談対応等を実施している。デジタル化が進んでいく時代でも高齢者が取り残されることがないように、丁寧な支援を継続していきたい。

**問** 中学生向け教育について。

①積極的な中学生向けの主権者教育サイトが構築されていない現状を踏まえ、選挙や議会の仕組みを説明するサイトの構築を。

②自転車交通ルールの遵守とマナー向上の啓発のため、交通安全教室の映像動画を制作して、区公式サイトへ掲載を。

**答** ①子ども向けページの作成も含め、今後も主権者教育に一層力を入れ、若者の選挙への関心と投票率向上に繋げていきたい。

②心理的ストレスに配慮した「スケアード・ストレート」の交通安全の啓発映像を作成する。今後も警察や地域と連携して全世代を対象に啓発活動を行い、交通事故ゼロのまちを目指したい。

**朝の小1の壁解決へ！  
京成立体化の早期実現を！**



公明党  
堀江 そういち



**問** 今後も気候変動の影響により夏の猛暑が続く中、これまでの取り組みを検証し、更なる総合的な猛暑対策を行うべき。

**答** 施設の活用促進やヒートアイランド対策、エアコンの活用等、全庁を挙げて取り組みたい。

**問** 避難所等の改善と強化について。

①環境改善に向けた具体的な取り組みは。

②民間施設を活用した広域避難施設の確保・拡充と、公共施設の受入体制強化への今後の具体的な取り組みは。

**答** ①水洗式マンホールトイレの整備、温かい食事提供、段ボールベッドの優先供給等を進め、都と連携して避難所環境整備に着実に取り組む。

②施設管理者と協議を重ね、協定の締結や開設・運用計画を作成している。国・都と連携し広域避難施設の確保と体制強化に取り組む。

**問** 朝の小1の壁の課題について。

①朝の小1の壁に関する区内の実態は。

②すくすくスクールの学童登録児童の長期休業中の対応や、朝の見守り体制のための人員確保が必要では。問題解決にどう取り組むのか。

**答** ①多くの小学校で登校時間前に児童が校門前で待機しており、課題となっている。

②長期休業中もすくすくスクール学童クラブを開設している。教職員等の負担を考慮し、児童を見守る人材確保等の必要な支援を検討したい。

**問** マイナ保険証について。

①本区におけるマイナ保険証の登録状況は。

②登録していない方の病院受診や調剤薬局の利用は。健康保険証の有効期限後の対応は。

③カードリーダーに不具合が生じた場合の医療機関や薬局での対応は。

④マイナ保険証の利用促進のために信頼回復と利便性の周知が重要だと考えるが、区長の所見は。

**答** ①区の利用登録率は約半数以上であり、利用率は今後更に増加が見込まれる。

②有効期限内の保険証で医療機関の受診がで

きる。有効期限後は今まで同様に使用できる資格確認書を令和7年7月下旬までに一斉交付する。

③有効期限内の現行の紙の保険証の持参や、区交付の資格情報のお知らせを持参することで、保険診療の扱いとなる。

④丁寧な説明や広報を通じてメリットや利便性を浸透させるとともに、資格確認書の交付準備を進め、適切な医療環境を整備していく。

**問** 京成本線の連続立体交差事業の早期実現に向け、地域住民の理解と協力を得ながらまちづくりを進めるべきと考えるが、区長の所見は。

**答** 沿線住民の意見を反映しながら整備方針を策定し、説明会等で理解と協力を得たい。

**安心な住まい、電池の回収、  
市民参画をすすめる**



超党えどがわ  
本西 みつえ



**問** 誰にとっても安心な住まいについて。

①住宅部門を都市開発部から福祉部に移管したことで、住宅確保要配慮者の抱える住まいの課題解決に向け、より一層機動的に動けると受け止めている。移管したことで成果と課題は。

②「住み替え相談会」を、福祉的課題解決を見越した相談会にすること、定期的かつ回数を増やして開催する等により、充実を図ることについて区長の見解を。

③住宅確保要配慮者の課題解決に取り組んでいくためには、家主やオーナー等の貸す側の不安を取り除くことが重要であると考えている。居住支援協議会の充実を求めるが、区長の考えを。

**答** ①居住にあたっての相談や課題等について福祉部門と連携が図りやすくなった。今後も住宅確保と入居後の居住支援を進めるべく、関係機関・団体との連携強化を進めていきたい。

②住み替え相談会では、住み替えの相談に限らず福祉サービスを含め、区民の様々な困りごとについて関係機関・団体へ適切に繋げるように引き続き尽力していきたい。

③今後も住宅要確保配慮者に対する支援の必要性は高まっていくと思われる。居住支援協議会の参加団体と協力し、住まいの確保や関連する相談、支援に取り組んでいきたい。

**問** 使用済み電池の処分について。

①電池の誤った処分の仕方により、ごみ収集車や破砕処理施設で火災を起こすことがあり、処分の仕方について分かりやすく周知を行うことが必要と考えるが、区長の見解を。

②二次電池をどう処分してよいのか分からないという方が多くいる。二次電池の回収場所を増やすよう一般社団法人JBRCに求め、本区としても庁舎等に回収ボックスを設置しては。

**答** ①令和7年度に配布する小冊子「資源とごみの出し方 基本ルール」のなかで、使用済み電池の出し方・分け方について、更に分かりやすい説明になるよう検討していきたい。

②環境省実施の広域的資源化モデル事業の検証結果等も注視し、二次電池の回収場所増設の判断を含め、効率的な回収方法を周知したい。

**問** 市民参画を進めることについて。

①区の将来に向けた方向性を決める区民アンケートについて、なぜ3択なのかという意見が多く届いている。アンケート実施にあたり、どのような声が届いているのか。

②今回のアンケート結果を踏まえて、今後の展開について、熟議する場面を作り市民参画を進めていくことが必要であると考え、区はどのように臨んでいくのか。

答 ①「区も町会と同じ課題を抱えていると理解した」や「選択肢の中に答えたいものがない」等、理解する声も厳しい声も双方あった。

②区政運営の基本的な姿勢は、広く区民の声を聞くことであり、今回の取り組みにもその考えを反映している。今後示していく具体的な内容についても、引き続き区民への丁寧な説明を心がけ、声を聴いていきたい。

学校改築事業の見直しを求める



無所属の会  
**ます 秀行**



問 学校改築事業における見積もりを活用した積算価格の算定について。

①国土交通省をはじめ多数のガイドラインがあるが、区では何を根拠に実施したのか。

②見積もりの提出を依頼した企業は何を基準に選定し、何社から回答を得たのか。

③回収した見積金額から実勢価格の妥当性について、何を根拠にどのように判断したのか。

④今回の見積活用方式による積算価格が次回以降の予定価格に影響を与えていくのか。

⑤見積活用方式を採用せず、不調の原因究明と入札制度の問題点を改める選択もあったのでは。

答 ①公共工事の品質確保の促進に関する法律の第7条を根拠にして実施している。

②設計図書の入札希望があった複数の業者に依頼した。回答数については、今後の入札手続きに影響が出る可能性があるため答えられない。

③総額の見積書と、以前の公告時に積算した複数の見積書も参考にして算出した額と比較・検討したうえで、価格の妥当性を判断している。

④今回の単価は今後の公告にも参考になると考える。今後の公告では従来の積算方法に加え、他の見積書も参考に予定価格の設定を検討する。

⑤制度の再構築も必要と認識はしているが、まずは不調になった工事について、早急に3回目の公告ができるよう対応していきたい。

問 同時公告された3校のうち、先行して落札された一之江小学校の契約について。

①一之江小学校の落札価格こそ実勢価格として捉えるべきでは。

②落札価格と積算予定価格に生じる差額について、契約の見直しや金銭的補填はあるのか。

答 ①この落札価格は実勢価格のひとつとして2校の予定価格積算時に落札業者からの請負代金内訳書も参考に予定価格の設定をしている。

②実勢価格として落札したものと考え、見積もりの徴取で生じる積算価格との差額や、契約の見直しによる金銭的補填は実施しない。

問 入札不調が続く理由は価格だけではない。区内業者優先が故に入札参加数が少ない事実等を、区はどのように受け止めているのか。

答 要因は予定価格と実勢価格の乖離等と考える。今後も公契約審査会の意見も伺い、社会的要請型総合評価一般競争入札制度を運用する。

問 新庁舎建設計画について。

①竣工までの建設費総額はどこまで上昇すると見込んでいるのか。現在の見直しは。

②建設費高騰の区民への情報発信と、区民の意識調査を目的としたアンケートの実施を。

答 ①建設物価の変動や需給状況をモニタリングしているが、将来推計の正確な把握は困難だと考える。その時々状況を踏まえて建設費を随時算出し、年1回程度公表していきたい。

②広報の活用や様々な機会を捉えた説明等、新庁舎建設への理解が深まるよう努めたい。区ホームページでの意見募集や意見交換会等を通じて区民の意見を聞いていく。

現行の保険証継続を、すべての子どもに給食費無償化を



日本共産党  
**大橋 美枝子**



問 命を守るための施策の充実について。

①健康保険証の新規発行停止、マイナ保険証への一本化について。

1) 現行の健康保険証の継続を国に求めるべき。

2) 保険料滞納世帯にも資格確認書の配布を。

3) マイナ保険証の解除方法の周知について。

②国民健康保険料について、一般会計からの法定外繰入金を増額して均等割の減額を。

③アクションプランで示された健診の一部有料化について、命を守る健診は無料で行うべき。

答 ①1) 国に対し要望する考えはない。

2) 保険料滞納世帯にも資格確認書を交付する。

3) ホームページや窓口等で必要な周知を図る。

②法定外繰入を増やす状況にないと考える。

③持続可能な健診に適正負担は必要と考える。

問 気候危機打開の具体策を進めるために。

①区環境センター機能の充実が必要では。

②脱炭素を目指す補助金の増額と、既存建物の断熱化を進めるための補助金制度の新設を。

③学校や既存公共施設の断熱化を推進し、区が率先して省エネモデルを示すべき。

④区民会議を今後も開催し区民とともに実践を。

答 ①えどがわエコセンターと連携し、環境への学びと活動の機会を積極的に提供していく。

②補助制度は増額している。断熱化を含め脱炭素化のための抜本的な対策を検討している。

③既に省エネ仕様を率先して取り入れている。

④地域主体の勉強会の輪を区全体へ広げていき、関係団体と連携して実践していきたい。

問 学校教育について。

①学校給食費について。

1) 区内在住の全ての子に給食費補助実施を。

2) 物価高騰に見合った年度途中の一食当たり食材単価の引き上げが必要と考えるが。

3) 行事食等の食育のため特別補助金の支給を。

②学習環境を保障する学校建設について。

1) 学校施設改築計画の抜本的な見直しを。

2) 公共施設再編・整備計画に学校は含むのか。

答 ①1) 全ての子への拡大を検討している。

2) 財政負担が大きいため慎重に検討する。

3) 現段階で特別補助金を支給する考えはない。

②1) 原則年3校の理念で今後も改築を進める。

2) 計画に学校も含まれている。

問 新川地下駐車場について。

①施設運営の基本的な考え方について。

②施設の例月データ収集と報告の受け方は。

③区内・区外居住者の利用現状について。

④駐車場の利用料金について。

⑤損益分岐点について。

⑥施設の用途変更について。

答 ①指定管理者制度を活用している。

②毎月定例会を開催し報告等を受けている。

③区内利用者優先で状況により他も募集する。

④長く使えるよう料金の適正化を図っていく。

⑤損益分岐点は約7,900万円となる。

⑥その時々に応じて対応を考えていく。

問 民法改正に伴う自治体の対応について。

①別居親による学校等への行事参加について。

②転校・転園・退学・退園時の対応について。

③制度の変更を踏まえ全庁を挙げた周知を。

答 ①子の利益を一番に考え適切に対応する。

②③丁寧に対応する。学習の機会等検討する。

住まいの防犯対策助成を！  
高齢者の多様な生活支援を！



公明党  
**川合 さなこ**



問 闇バイトによる一般家庭をターゲットにした犯罪が頻発する昨今、家庭の防犯対策を後押しする住まいの防犯対策助成制度の導入を。

答 まずは公共の場における防犯カメラの設置等を推進しており、住まいの防犯対策については引き続き他自治体の取り組みを研究する。

問 災害時の自助力向上に向けた取り組みについて。

①今後の自助意識向上の取り組みについて。

②福祉作業所の防災カタログを活用し、一定期間の送料無料や購入補助等の支援策を講じては。販売促進の支援は、福祉作業所の工賃アップの取り組みにも繋がるものとするが。

答 ①今後も様々な取り組みを通じて、区民が災害を自分事として捉え、自助意識を向上させる取り組みを継続して行っていく。

②支援策については他自治体の動向を注視する。様々な機会や媒体の活用でカタログの有効性等を更に周知していき、工賃増加に繋げたい。

問 ペットボトルの適正排出とリサイクルに向けて、ペットボトル資源化の質の向上と資源量を増加させる効果的な取り組みの実施を。

答 ペットボトルを適切に出すよう啓発と資源の店頭回収をする事業者の取り組みを周知し、区民・事業者と力を合わせて取り組んでいく。

問 孤独・孤立対策には、他者に頼りやすい・声をかけやすい環境が重要である。国の動向を踏まえた区の考え方や今後の取り組みは。

答 日常的に声をかけやすく、お互い様と感じる関係性を身近に築けるような啓発を行い、誰もがともに支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けて取り組みたい。

問 本区の介護予防・日常生活支援総合事業における、多様な主体による様々なサービスの進捗状況と今後の展開について。

答 地域の支え手を増やすことを目標に掲げている。今後、困りごとの多様化とその対応への高まる需要に対し、支援やサービスの充実、支え合いの多角的な推進等を図っていく。

指定管理者の運営で赤字2200万！区に今後を問う



日本維新の会  
**丸山 れいこ**



# 議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



## 令和6年第4回定例会

### ■全会一致となった議案等の審議結果

件名		結果	
区 長 提 出 議 案	算	令和6年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
		令和6年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	
		令和6年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
		令和6年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
		令和6年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	
		令和6年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	
	条 例	青少年の翼基金条例を廃止する条例	
		江戸川区情報公開及び個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	
		江戸川区印鑑条例の一部を改正する条例	
		江戸川区立学校設置条例の一部を改正する条例	
		江戸川区長及び副区長の給料等に関する条例の一部を改正する条例	
		江戸川区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例			
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例			

件名		結果	
区 長 提 出 議 案	その他	訴えの提起について	可決
	その他	児童相談所を設置する特別区における措置費共同経理課の共同設置に関する規約の一部を変更する規約	
議員提出議案		固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書	可決
請願・陳情	26号	予防接種健康被害救済制度の周知に関する陳情	趣旨採択
	54号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	採択

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。




■ 11月28日議決分 ■ 12月10日議決分

- ※1 議長を除く
- ※2 12月10日に欠席した議員を含む
- ※3 超党えどがわの一部棄権
- ※4 不採択に賛成…○、反対…×

### ■意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

件名		自民	公明	超党	無会	共産	維新	無所属(50音順)		結果	
		12人※1	12人	6人	5人	4人※2	2人※2	1人	1人		
区 長 提 出 議 案	予 算	令和6年度江戸川区一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	×	○	×	×	可決	
		令和6年度江戸川区一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	×	○	○		×
	条 例	江戸川区文化スポーツプラザ条例	○	○	○	○	○	○	○		×
		江戸川区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○		×
		江戸川区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	×	○	○		×
その他	施設の買入れの変更について	○	○	○	○	×	○	○	×		
議員提出議案	多様な人材の地方議会への参画推進を求める意見書	○	○	○ ※3	○	×	×	○	○	可決	
請願・陳情	41号 令和5年の遺体放置事件についての百条委員会の設置を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	×	不採択 ※4	

## 令和6年第2回臨時会

### ■全会一致となった議案等の審議結果

件名		結果	
区 長 提 出 議 案	予 算	令和6年度江戸川区一般会計補正予算(第8号)	可決

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。



■ 12月27日議決分

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、超党…超党えどがわ、無会…無所属の会、共産…日本共産党、維新…日本維新の会、無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています

## 皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



新たに受理されたもの		付託委員会
55号	指定管理者及び開発道路の疑義解明を求める陳情	総務委員会 参考送付
56号	臓器移植に関わる不正取引、非人道的性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	総務委員会 参考送付
57号	船堀駅前地区まちづくりに関する陳情	文教委員会

## ホノルル市議会議員団が江戸川区に来訪

今回、姉妹都市訪問の一環として、令和6年10月29日(火)にホノルル市議会議員団6名が来訪されました。翌日30日(水)に江戸川区へ表敬訪問され、カヌー・スラロームセンターの見学や、善養寺で影響の松などを視察されました。その後、江戸川区議会による議場レセプションが行われ、琴演奏者の小泉まどか氏による琴の演奏や、歓迎会では根本紗恵子氏が主宰するフラダンスが披露されました。31日(火)には、源心庵で江戸川区華道茶道協会の先生方による茶道の体験、根田雅風氏による書の記念品贈呈といった、日本の代表的な文化を堪能していただきました。このような文化的な交流をきっかけに、お互いの関係がより密接なものとなるよう、今後の両市議会及び両都市の更なる友好と発展に繋がっていくことを願っています。



■源心庵での集合写真の様子



■議場レセプションの様子

### 議員研修を開催しました

**【テーマ】災害時における地方議会の役割について**  
**【講師】早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員 清水 克士 氏**

江戸川区議会は、今後発生が想定される首都直下地震や大規模水害等の発生時において、江戸川区災害対策本部と連携し、災害復旧・復興に向けて、議決機関としての機能を維持するために江戸川区議会業務継続計画(区議会BCP)を令和3年に策定しました。



今回の研修では他議会の事例を参考に、議会の非常時の弱みや強みのほか、災害時における議会の役割等について学びました。



今後も江戸川区議会は区民の生命、財産の維持並びに区の行政機能維持に努めてまいります。

■研修の様子

### ホームページの多言語翻訳機能が新しくなりました!

江戸川区に住む外国人の方にも議会の活動を知っていただけるよう、区議会ホームページの多言語翻訳機能をこれまでの108言語から121言語に拡充しました。引き続き、開かれた議会を目指し取り組みを進めてまいります。



### 議員から提出された議案 — 意見書は各関係機関に送りました —



- 多様な人材の地方議会への参画推進を求める意見書  
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣 あて〕
  - 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書  
〔東京都知事 あて〕
- 詳しくは、江戸川区議会のホームページをご覧ください。

### 令和7年第1回定例会開催予定

※日程は変更になる場合があります。

- 2月14日(金) …… 本会議(議案上程、委員会付託)
- 19日(水) …… 本会議(一般質問)
- 20日(木) …… 本会議(一般質問)
- 2月21・25・26・28日 } 予算特別委員会
- 3月 3・4・6・11日 } 予算特別委員会
- 12日(水) …… 常任委員会(議案審査)
- 13日(木) …… 各常任委員会(議案、請願・陳情等の審査)
- 25日(火) …… 本会議(委員会報告及び表決)

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

### 第2回臨時会の概要

- 令和6年第2回臨時会は12月27日に会期1日間で開かれました。
- 区長から議案1件が提出され、全会一致で可決されました。
- これにより、住民税均等割非課税世帯に一世帯あたり3万円の給付と、そのうちの子育て世帯に対しては、18歳以下の子ども一人あたり2万円の加算給付や、住民税均等割のみ課税世帯に一世帯あたり1万円の給付のほか、定額減税補足給付金の不足額を給付することが決まりました。

### 区長から提出された議案

- 議案  
・令和6年度江戸川区一般会計補正予算(第8号)

### 区議会広報委員会 (委員長 副委員長)

- 島村 和成 ○関根 まみ子
- 笹本 ひさし ○小林 あすか 小俣 のり子

# 写真で振り返る 江戸川区議会の1年間



## 1月

能登半島地震に対して議員44名全員から義援金が集まり、石川県東京事務所に寄付されました。

## 2月

令和6年第1回定例会において予算特別委員会を設置し、8日間にわたり令和6年度の予算を審議しました。



## 5月

令和6年第1回臨時会が開催され、委員会のメンバーが変更になりました。

## 8月

関東地方に接近した台風7号の影響により、区議会災害対策本部を設置し、区と綿密に連携し情報共通を図りました。



## 9月

江戸川区総合防災訓練では、情報収集訓練や参集訓練を行いました。

## 10月

令和6年第3回定例会で決算特別委員会が設置され、8日間にわたり令和5年度の予算が適正に執行されたかを審議しました。



## 11月

奥能登豪雨災害に対して議員44名全員から義援金が集まり、石川県東京事務所に寄付されました。



江戸川区議会と友好議会協定を結ぶ、ホノルル市議会の議員団が江戸川区に訪れました。



令和6年第4回定例会の初日に議場コンサートを開催し、多くの方に鑑賞していただきました。

## 12月

防災対策について議員研修を開催し、災害時における議会の役割について学びました。

